

第4回（仮称）富士宮市立郷土史博物館基本構想検討委員会

会議録

場所	令和4年2月21日（月）13:30～15:30
日時	富士宮市役所 5階 510会議室
出席者	<p><現地出席></p> <p>委員 : 北垣委員、渡井委員、片山委員、山本委員</p> <p>事務局 : 富士宮市文化財課 深澤氏、保竹氏</p> <p><オンライン出席></p> <p>委員 : 植松委員、大高委員、小笠原委員、諸星委員</p> <p>オブザーバー: (株)丹青研究所 大木、青島、外山</p>

内容

1. 開会	
○主催者挨拶	
2. 議事	
(1) 施設整備の考え方	
① 施設整備の基本方針	
植松委員	収集保存と保管という言葉が混在している。収蔵という言葉の前段でしようしておく必要がある。
事務局	用語の統一を図る。
② 施設整備の基本方針	
山本委員	P. 25の既存施設とは何かを想定しているのか。
事務局	仮に使える施設があれば活用したいと考えている。白糸自然公園や万野池田公園なども敷地内に別の目的で整備された施設があるので、活用できるようであれば倉庫などとして活用したいと考えている。
渡井委員	敷地から離れた所の既存施設は想定していなのか。効率性を考えると、できる限り施設から近い施設の活用を検討すべき。
委員長	現時点では柔軟な対応をするためにある程度含みを持たせた記載となっているかと思う。
③ 諸室機能	
事務局	整備後の維持管理のことも考えて、規模を想定したことをご理解いただきたい。
植松委員	収蔵と展示が同規模であるが、収蔵面積が小さいのではないかと。倍の規模は収蔵に必要ではないか。それを補完するために既存施設の活用を想定されているのだと思うが、効率性等を考えると施設から離れた場所にあると

事務局	
植松委員	図書・情報は展示公開の部門に入れたいほうが良いのではないかと。別棟の展示室（収蔵庫）をつくる、と言う考えがあるのであれば明記しておく必要があるのではないかと。
事務局	明記の方法は検討したい。
植松委員	写場なども必要であり、明記しておく必要がある。
事務局	明記していなが、資料整理室の機能として内包する形で想定している。
植松委員	写真撮影室に赤外線カメラをいれるなど、明記しておく方がよいのではないかと。
事務局	機材等については基本計画にて検討したい。
植松委員	埋蔵文化財センターは現状を踏まえて検討するのでは機能が少ないのではないかと。
大高委員	埋蔵文化財センターの機能として収蔵庫の規模を見ているので、施設全体の収蔵スペースは400㎡以上が確保できるということか。
事務局	
大高委員	富士宮市の収蔵品では人文系以外の理科系の資料をわけて収蔵しなくてはよいのか？
事務局	収集資料部門で想定している資料は民俗や美術工芸、文章である。ボーリン調査で採取した資料などは、この施設の収蔵庫には想定していない。
北垣副委員長	現在の埋文センターや郷土資料館の資料数や収蔵ボリュームについて記載しておくとうい。
事務局	掲載の仕方や、委員への説明資料の提示については検討したい。
渡井委員	多目的室とひとまとめにしてしまうと、使い難い場合が多いので、教育普及に力を入れる施設であるのであれば、きちんと機能や規模について検討しておく必要がある。
事務局	基本計画で検討したい。
大高委員	将来的に巡回展を呼ぶとすると500㎡程度の部屋は必要になることが想定される。とすると多目的室の一部を利用することも想定される。その場合、昼食場所を兼ねる場所と展示室としては利用しにくい。学校団体の昼食場所は多目的室とは別に確保したほうがよい。
事務局	基本的には屋外学習スペースを昼食場所として提供する
北垣副委員長	飲食休憩スペースと一緒に考えられないのか。
事務局	自動販売機があるちょっとしたスペースを想定している
北垣副委員長	
委員長	つねに利用する場所でもないので、大きな広さを設けることも難しいかと思うが、別の機能を兼ねることで確保の方向で検討するとよい

④ 整備費の想定	
委員長	予算ということもありかなり幅を持たせた額となっている。
⑤ 整備候補地の考え方	
植松委員	見学や学習という視点からいうと、どの候補地が有力なのか。
事務局	*各候補地を補足説明。基本計画で検討していく。
植松委員	施設整備後に有効性を考え、市街地や連携可能な施設の近くなどで候補地を検討できるとよい。
大高委員	4つの候補地に、どれぐらいのひとが訪れているのかなども踏まえて検討する必要がある。来場者数なども想定しながら候補地を検討する必要があるのではないか。
事務局	今後検討したい。
渡井委員	万野風穴周辺は溶岩洞窟が多く、工場建設の際に陥没した事例もあるので配慮が必要ではないか。
北垣副委員長	周辺の児童数という観点では、万野風景のある富士学区は児童数もふえているのでよいと思うが、洞窟が多く、天然記念物の観点も気掛かりである。
諸星委員	市民文化会館の再整備の際に抱き合わせで整備できないのか。
事務局	面積や駐車場の確保が難しいこと、法律的に文化会館は同地でしか整備できないことなどもあり、候補地からは除いている。 まちなかでアクセスの良い場所でも自家用車での来場が多く、駐車場の確保は必須となることはご理解いただきたい。
植松委員	諸星委員のような視点をもって検討していくことが必要であるが、上層部での検討が必要だと思う。
片山委員	利用者目線で言うと、本当に行きたい意欲があれば、必ずしもアクセスが良いことだけが来館のきっかけになるわけではないと思う。 落ちついた環境でじっくりと学ぶ、というのであれば、白糸自然公園のように落ち着いた環境の方が、じっくりと学習出来るのではないか。
事務局	委員のご意見もふまえながら検討する。
(2) 運営の考え方	
① 運営主体及び運営方式	
北垣副委員長	ミュージアムショップなどのサービス部門も直営職員なのか。ミュージアムショップは博物館活動にとって重要なので、検討しておく必要がある。
大高委員	うちも直営とは言っているが、受付業務や清掃、ミュージアムショップはそれぞれ委託となっている。ミュージアムショップを充実させないと、非常に厳しいご意見をいただくことになる。再来館につなげるためにも充実が必要。
委員長	ミュージアムショップを完全な直営とすると事務手続きがかなりのボ

	リユームになる。体制として管理運営を直営としても、ミュージアムショップの展開は民間導入が非常に重要になるので、検討いただきたい。
事務局	今後検討する。
② 組織体制	
植松委員	埋文センターの職員と博物館の職員は兼務として想定しているのか。
事務局	兼務とは考えていない。活動として連携が必要と考えている。
③ 開館形態	
※意見なし	
(3) その他	
① 事業スケジュール	
事務局	収蔵庫についてはコンクリートの洩らし期間も必要なので、開館から2年程度遅れることも想定される。
植松委員	R4年度の市民周知としては何をするのか。
事務局	歩く博物館や講演会などの機会を活用しながら、博物館整備の周知をしていく。
植松委員	文化課の職員の負担が大きくなるのではいか。
大高委員	これまでの他の計画がどのように周知するかも大切であるが、市民を以下に巻き込むか、ということも重要である。博物館像や取り組みなどパブコメ的なアンケートをすると、その先の市民の協力も得やすい。静岡県の博物館が来年オープンするので、参考になるのではないか。
事務局	郷土資料館の来館者やイベントの来場者へのアンケートを検討している。
諸星委員	小学校、中学校の校長と会ったときに、学校校長では富士山学習からSDGsにつなげられないかという意見があった。 87%の児童が北山学習を楽しんでいると感じている、保護者は96%が子どもがとても楽しく取り組んでいるという意見があった。 博物館を富士山学習に取り組んでいくのであれば、児童へのアンケートをとってはどうか。
委員長	持続可能な地域作りに貢献していくためには、子どもたちも含めた市民の意見をつのってはどうか。候補地でいうと、一箇所に限定されがちであるが、市全体で教授できるような博物館となるとよい。
事務局	検討する。
② イベントの実施	
事務局	来年以降の活動となるが、取り組むとよいと思われることがあればご意見を頂戴した。